

経営比較分析表（令和5年度決算）

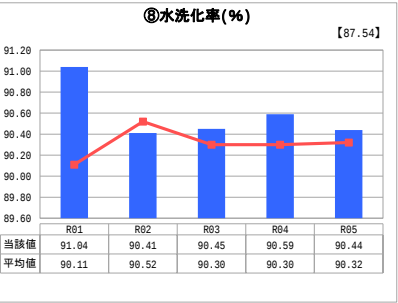
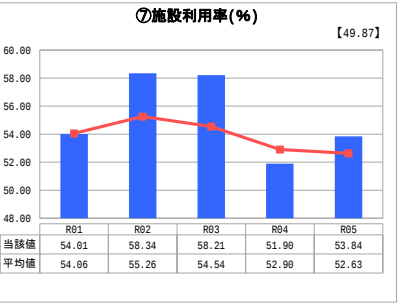
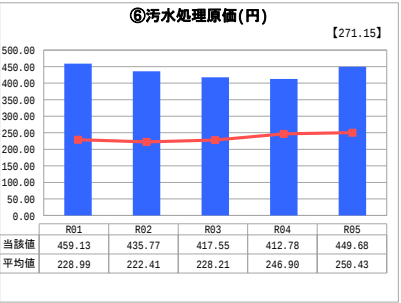
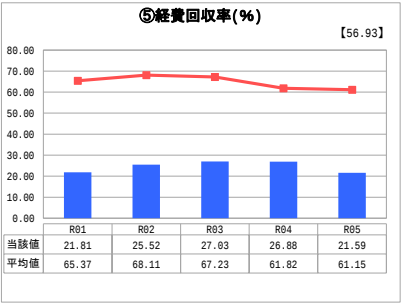
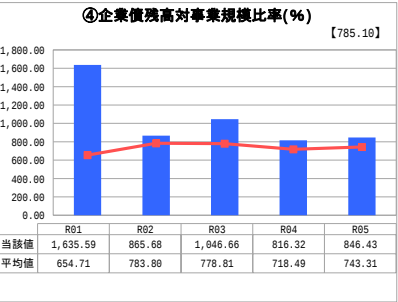
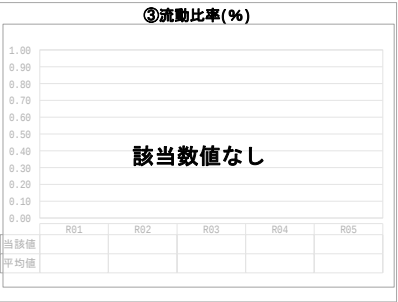
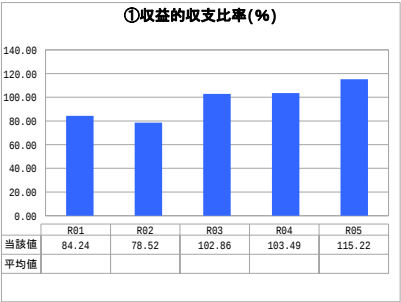
兵庫県 神戸市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月28㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.86	83.95	1,760

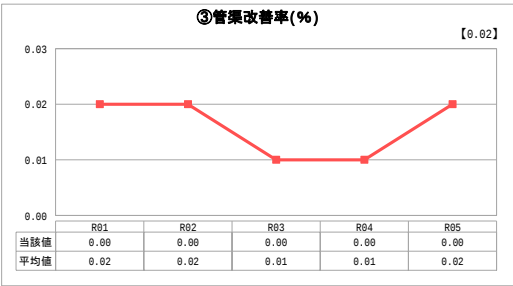
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
1,500,425	14.67	102,278.46
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
12,810	4.57	2,803.06

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値） — 類似団体平均値（平均値） 【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率
平成29年度に企業債の償還はピークを迎え、収益の収支比率は平成30年度以降、改善傾向である。令和5年度は一般会計からの繰入金が増えたため、収益の収支比率が改善した。

④企業債残高対事業規模比較
農業集落排水事業は、地形的に起伏が多いなどの条件が影響し、事業開始当初の施設整備に多額の費用が必要となったため、企業債残高対事業規模比較が平均値よりも高くなっていた。その後、企業債の償還が進み、令和2年度以降は平均値に近づいている。

⑤経費回収率
神戸市では、農業集落排水事業の使用料単価は、公共下水道事業と同額としている。しかし農業集落排水事業は小規模な処理施設が多数点在しており、公共下水道事業に比べて処理区域内の人口密度が低く、使用料に比べて必要となる費用が多い事業となっているため、経費回収率が低くなっている。

⑥污水处理原価
地形的な条件等が影響し、污水处理原価は平均値より高くなっている。

⑦施設利用率
施設利用率は概ね平均値と同水準で、施設の利用状況は比較的良好であり、規模も適切であると考えられる。

⑧水洗化率
水洗化率は概ね平均値と同水準となっている。

2. 老朽化の状況について

管渠の多くは、耐用年数を迎えておらず、大きな不具合も出ていないため、管渠の更新は実施していない。

全体総括

神戸市の農業集落排水事業は、污水处理原価を使用料等でまかなうことができておらず、収入の大半を一般会計からの繰入金に依存している。また、今後、多くの機器が耐用年数を迎え、機器の更新が必要となる見込である。経営の改善策として、処理区の統廃合等、効果的な処理を積極的に進めていく。引き続き経営改善を図りつつ、適正な維持管理に努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。